

救いを託されている。



日本赤十字社の活動資金へのご協力をお願いします。

救うを託されている。

日本赤十字社愛知県支部の主な事業

01 災害救護活動

いつ、どこで発生するか予測できない自然災害や航空機事故などの人為災害。迅速に医療救護活動を展開するために日頃から近隣県支部や他機関と連携し、様々な想定の実地訓練を重ねると同時に、災害時に必要な資機材の配備、救援物資の備蓄をしています。



東日本大震災から10年

2011年3月11日、東日本大震災が発生。津波、火災、原子力発電所の爆発などにより広範囲に甚大な被害がもたらされてから、今年で10年を迎えます。救護活動を行ったこの震災の記憶を忘れず、未来へ向けて今できることとして、南海トラフ地震などの大きな地震に備えた災害対応力の強化のほか、子どもたちや地域コミュニティに向けた防災教育事業を続けています。



02 救急法などの講習

緊急時の手当や事故防止に必要な知識技術を学ぶ4つの講習会を県内各地で開催するほか、学校、PTA、会社、町内会や自主防災組織など団体からのご依頼にあわせた講習にボランティア講習指導員を派遣しています。また、コロナ禍の中、オンライン環境での講習も開催し、継続的な普及を行います。



令和3年度講習普及計画

種類	受講者数
救急法	491回 14,202人
水上安全法	88回 3,430人
健康生活支援講習	238回 12,284人
幼児安全法	222回 7,414人
合計	37,330人

03 国際活動

世界の192の国と地域に世界的ネットワークをもつ人道支援機関として、災害や病気で苦しんでいる人を救うため、救援活動や保健衛生活動等を世界的に展開しています。



04 青少年赤十字

「健康・安全」「奉仕」「国際理解・親善」の3つの実践目標を掲げ、県内1080以上の加盟校において学校教育の場で世界の平和と人類の福祉に貢献できる青少年の育成に取り組んでいます。

〈防災教材〉



いえまですごろく



ぼうさいまちがいがしがしきけんはっけん!

06 医療事業

名古屋第一赤十字病院(中村日赤)、名古屋第二赤十字病院(八事日赤)では、地域の中核的な病院の役割を果たすほか、国内外の災害時には医師や看護師等を派遣します。

07 血液事業

愛知県赤十字血液センターでは病気やけがで輸血を必要とする方々のため、広く献血についての理解を求め、多くの方のご協力をお願いし、安全な血液を安定的に医療機関へ届けています。

08 看護師養成

日本赤十字豊田看護大学では、赤十字の人道の理念のもと、最先端の看護知識・技術を身に付け広く社会に貢献できる赤十字看護師を養成しています。

+ 新型コロナウイルスの3つの顔

県内の青少年赤十字加盟校や教育委員会を通じて、日本赤十字社の作成した啓発教材「新型コロナウイルスの3つの顔を知ろう!」を紹介しています。この教材は、新型コロナウイルスがもたらす病気・不安・差別という3つの感染についてわかりやすく学ぶことができます。

新型コロナウイルスの感染を防ぐ方法だけではなく、感染した人や感染リスクのある人への差別や偏見の問題についても伝えていきます。



そして、ささやく。



(啓発動画)

+ コロナ禍における子どもたちへの学習支援機器の配布

今般の新型コロナウイルス感染拡大の影響により、教育現場ではオンライン学習の必要性が高まり、限られた運営費の中で子どもたちの生活を支えている児童養護施設や、外国人学校・日本語教室では、オンライン環境の整備を速やかに進めることは難しいなか、子どもたちの学ぶ機会を守るため、児童養護施設、外国人学校・日本語教室を対象として、タブレット等の配布を実施しました。



+ 感染防止啓発教材の作成

世界中で感染拡大の続く新型コロナウイルス感染症、感染拡大を防ぐために、イラストを使ったわかりやすい感染防止啓発教材を作成。広く一般の方々に提供し、感染防止等の啓発を図りました。



+ 災害用備蓄品の配備および医療機器の整備

新型コロナウイルス感染症蔓延期における避難所での感染防止のため、パーテーションや手指消毒液、段ボールベッドなどの備蓄を行いました。また、県内の赤十字病院に対して新型コロナウイルス感染者診療のための機器整備を行いました。



皆さまからの大切なご支援は「ひとりでも、多くの人を救う」活動にそのまま繋がります。

令和3年度 日本赤十字社愛知県支部が 支援する主な国際活動

- アジア・大洋州
給水・衛生災害対応キット支援事業
- レバノン・シリア難民支援事業
- バングラデシュ南部避難民
保健医療支援事業

このほか、「国際救援・開発協力要員」となる人材を育成し、愛知県支部からも世界の被災地等へ派遣しています。

05 赤十字 ボランティア

赤十字の活動は多くのボランティアに支えられています。地域に根差した活動を行う「地域赤十字奉仕団」、特技を活かした「特殊赤十字奉仕団」、若者を中心とした「青年赤十字奉仕団」が活躍しています。



令和2年の愛知県内赤十字奉仕団員数

地域奉仕団	19,073人
特殊奉仕団	1,370人
青年赤十字奉仕団	277人

令和2年4月現在

赤十字活動資金の流れ



あなた



日本赤十字社

日本赤十字社の活動のために大切に使用いたします。



皆さまからご協力いただいた活動資金は、上記の事業以外に広報活動、市町村における活動等にも活用されています。

詳細は裏面の予算概要をご参照ください。

ごあいさつ

日頃、赤十字活動に格別のご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

新型コロナウイルスが全国で猛威を振るい、私たちの生活に大きな変化をもたらし、多くの方が不安の中過ごされ、感染予防に取り組まれてきたことと存じます。

日本赤十字社では、こうした状況下においても自然災害で被害にあわれた方々に寄り添った救護活動はもとより、感染症による差別や偏見をはじめとする人道課題への対応や、地域の中心的医療機関としての新型コロナウイルス感染症患者受け入れや、感染症蔓延期における災害救護活動のための資材整備などを実施しております。

また平時には、行政、関係諸機関、そして地域の皆様方とともに災害に備えるための活動と救急法等の講習普及、青少年赤十字・赤十字ボランティアの育成、医療・血液事業などコロナ禍においても地域の方々のいのちと健康、尊厳を守る活動の充実に努めてまいります。

このような赤十字活動は、皆様方の継続的な活動資金のご協力なしには実施できません。これからも赤十字活動に対するご理解と活動資金のご協力を何卒よろしくお願い申し上げます。



日本赤十字社愛知県支部
支部長

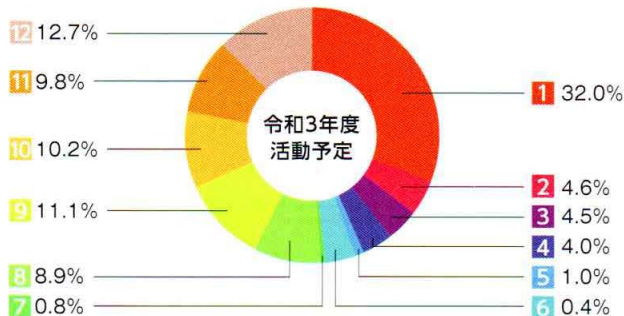
神田 直希

令和3年度 予算概要

令和3年度における日本赤十字社愛知県支部一般会計歳入歳出予算の概要をご報告します。

■歳入

内訳	予算額	
1 社資収入(活動資金のご協力)	1,082,000,000円	90.5%
2 補助金及び交付金収入	5,388,000円	0.5%
3 資産収入・雑収入	22,093,000円	1.8%
4 前年度繰越金	86,186,000円	7.2%
計	1,195,667,000円	100.0%



■歳出

内訳	予算額	
1 災害救護事業と救護看護師の養成に	383,093,000円	32.0%
2 救急法や健康生活支援講習などの普及に	54,888,000円	4.6%
3 赤十字ボランティアの活動と育成に	53,607,000円	4.5%
4 青少年赤十字の育成と普及に	48,205,000円	4.0%
5 社会福祉事業などに	11,442,000円	1.0%
6 血液事業の普及啓発に	4,818,000円	0.4%
7 国際的な活動に	10,077,000円	0.8%
8 広報・活動資金募集のために	105,148,000円	8.9%
9 赤十字病院救急医療体制の整備に*	133,007,000円	11.1%
10 市町村における赤十字活動に	121,400,000円	10.2%
11 全国的な赤十字活動に	117,750,000円	9.8%
12 支部の運営に	152,232,000円	12.7%
計	1,195,667,000円	100.0%

*使途が指定された活動資金による事業を含みます。

活動資金のご協力方法

下記の方法でご協力いただけます。

※その他のご協力方法につきましてはホームページをご覧ください。

町内会・自治会などでのご協力

毎年5月の赤十字運動月間を中心に、地域の町内会・自治会などのご協力により、会員(社員)へのご加入と活動資金のご寄付を募っております。

遺言や相続財産によるご協力

「自分で築いた財産の一部を寄付したい」「故人の遺産を社会のために寄付したい」といったお申し出をいただき、遺言や相続財産、ご香典のご寄付を承っております。

企業でのご協力

ここ数年、多くの企業さまが社会貢献活動への関心を高められ、直接的な活動資金のご寄付だけでなく、様々なキャンペーンを通じた売上の一部のご寄付や、活動でのご協力をいただいております。

チャリティイベントでのご協力

皆さまで実施されているチャリティイベントでの収益をお寄せください。ご寄付いただいた団体さまにもお礼状、感謝状などをお渡しさせていただきます。

※地域でのご協力をご依頼しているほか、ダイレクトメールなど年間を通じて活動資金協力のお願いが重複する場合がございますが、何卒ご容赦くださいますようお願いいたします。

税制上の優遇措置 お寄せいただいた活動資金のご協力は、税制上の優遇措置が受けられます。

個人情報の取扱い 日本赤十字社(本社及び都道府県支部)は、会費(社費)、寄付金(「海外たすけあい」を含む)、海外救援金、国内災害義援金へのご協力に際して取得する個人情報について、厳重に管理・保護を行うとともに、受領証や活動報告等の送付及び事業資金等の募集活動の目的のためにのみ使用します。

